



「できない人」のタイプ③

仕事の優先順位を理解できない

仕事の納期を守れず、信頼をなくす人は「できない人」だ。彼らの多くは仕事の優先順位をつけられず、いつも「忙しい」と嘆きながら仕事を行い、しかも成果を出せない。

いくら丁寧な仕事をして、納期を守るといふ時間の概念がなければ、いつまでたっても周囲から認められず、「できない人」のレッテルを貼られてしまう。

仕事は、最初の段取りですべてが決まることもある。仕事の優先順位がつけられないことを本人が自覚していない場合、なぜ上司から注意されるのか理解できず、常に慌しく仕事を行っている。多くの仕事が一度に押し寄せる、何かから手をつけていいかわからず、すべてを投げ出し、パニック状態になってしまう場合もある。仕事の優先順位を理解できない人には、仕事の進め方を取り足取り指導する必要があるが、仕事の全体像を上司しか知らず、上司と部下の間のコミュニケーションが取れていないため、部下が仕事の重

要性を認識していないケースもある。

仕事の優先順位を把握していない部下に対して、上司が仕事の全体像や段取りについて説明しているかチェックしよう。納期などの時間の概念は、ビジネス上もとても重要視されるべき項目だ。スキルや技能に問題があっても、自分から「できない」と言えない人は、いい加減な仕事しかできない。事前に仕事のスケジュールを提出させて、上司は仕事の進め方や進捗状況を把握していなければならぬ。何度指示をしても、時間通りに仕事を進められなければ、ときには厳しく叱ることも必要だ。

い人への対応策

できな

- 職務能力をチェックし、不足しているスキルを補う
- 社内研修制度を見直し、実践力を高める
- 部下の仕事の進め方、進捗状況をチェックする